



ぽっかぽか ひよこ組



早いもので、今年も残すところ後一カ月足らずとなりました。秋があっという間に過ぎて、肌寒い風を感じるようになってきました。季節を感じられる遊びを取り入れたり、お部屋の飾りや歌などでも雰囲気を楽しみ感じられる様にしていきたいです。また、晴れた日には引き続き、靴を履いて屋上園庭や長久保公園で、ハイハイや歩行をして身体を動かしていきたいと思っています。



スプーンで食べてみよう！

手づかみ食べをたくさん練習し、遊びの中でも細かい動きができるようになってきました。スプーンを使用する目安は完了食ですが、その子の発達に合わせて進めています。中にはスプーンを使うよりも手づかみ食べを好む子もいます。その場合は同時に行うと混乱してしまうので、スプーンをおいてから手づかみ食べをすすめることや「スプーンかお手でどちらで食べる？」と声をかけて子どもに選んでもらって食事をすすめています。またスプーンを持っていて途中で嫌がったり、握り方がくずれてきたら無理なく手づかみに変える事もあります。そこで今回は、どのようにスプーンを導入し、どんなことに気を付けているかをご紹介します。

子ども用のスプーンには、太いグリップをつけて握りやすいようにしています。



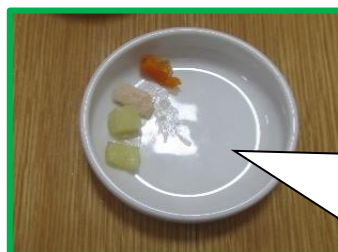
握る力が弱くても、しっかりと握ることができます。

①



まずは一口量をスプーンに乗せておき、自分でスプーンを持って口に運んでみる事から始めます。

②



スプーンを口に運ぶことに慣れてきたら、大人が一口量ずつ小皿の左側に入れ、自分ですくって食べてみます。

握る・すくう・スプーンを真っすぐ口に運ぶことに慣れてきたら大皿から自分で食べてみます。その時に食材をスプーンで1口量に切ることを大人が支援しながら知らせています。



口の正面からスプーンが入るように大人が肘を支えるなど、必要に応じた支援をしています。

一緒に食べるの楽しいね♪

完了食になると午後食の離乳食がおやつに変わります。初めはかじり取るのが難しく詰め込んでしまうこともありましたがその都度1口量を伝えたり、咀嚼を促しています。一対一で食べていた食事が次第に二対一になり、友達と一緒に食べる時間が増えてきています。一緒に食べることで、苦手を感じている食材も友達が見られているのを見て一口食べてみたり、牛乳を飲んでみようとするなど、影響を受けながら挑戦する姿も見られるようになりました。食事の際には「おいしい」のベビーサインと一緒にやって笑い合うなど「友達と一緒に食べるとおいしい！楽しい！」と子どもたちの表情から楽しい雰囲気がとても伝わってきます^^

最近では食事だけでなく、大人2人に対して子ども3人などで一緒に長久保公園に出始めていることもありお友達と一緒に出掛けることで、子ども同士で顔を見合わせてみたり、笑っている姿をみて一緒に笑ってみたり、泣いている子の顔を覗き込んで頭を撫でてあげたり…。自分や大人以外の存在に興味を持ち、意識する場面が見られています。また、友達と一緒に行動する中で「待つ」ことの練習もしています。毎日の積み重ねの中で楽しい集団生活が送れるよう心掛けています！！

